

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表				2024年度			
------------------------	--	--	--	--------	--	--	--

法人名	社会福祉法人苗場福祉会	代表者	湖山 泰成	法人・事業所の 特徴	法人:苗場福祉会は、本年度設立31年を迎える。広域法人として事業運営を強化するために、各事業部の人・組織・施設の成長が必須である。今後、さらに広がる事業展開を加えて高い生産性と組織力を併せ持ち、各地域・社会全体に広域法人として成長することを目指す。 事業所:開設11年目を迎え、変化するお客様のライフスタイルから、事業所として多様なニーズに応え柔軟な対応が求められていることから、ご家族様や地域の関係機関との連携を常に図り、お客様本人が「住み慣れた地域での暮らし」が継続できる支援を心がけている。
事業所名	健康倶楽部むさし野の森	管理者	宮寺 裕子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	0人	1人	0人	3人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>出勤時の業務日誌確認、朝タミーティングによる情報共有の継続により、適切なケア及び業務遂行につなげていく。</li> <li>介護業務ソフトを活用した業務の効率化により、ケアの充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員出勤時の業務日誌確認は定着しているが、ミーティングに参加できなかった職員への情報共有が確り行えていない現状がある。</li> <li>お客様連絡帳や体調チェック記録等、介護業務ソフトを活用。業務負担を軽減することで、日中の活動や余暇時間が活性化されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所評価については、職員全員がスタッフ評価し会議体で織められていました。</li> <li>事業所内の仕組みや業務は、見えない部分なので意見できない。</li> <li>会議やミーティングに参加できていない職員への情報共有が継続した課題になりますね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝・タミーティングの内容は、責任番が業務日誌の申し送り事項へ記録。業務日誌や会議録等の回覧物には、確認欄を設け職員個々が確認後に押印する仕組みを確立し、ミーティングや会議に参加できていない職員と情報共有することで業務内容及び適切なケアの統一につなげていく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの感染状況に留意し、今後も面会者のご希望を取り入れながら柔軟に対応していく。</li> <li>施設見学や福祉体験の受け入れ等、地域に開かれた施設として役割を担っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面会は、感染予防対策として別棟の地域交流室を利用し対面での面会を実施。県外等のWEB面会希望にも柔軟に対応できている。</li> <li>コロナ5類へ移行に伴い、地域貢献活動を再開。学生や地域住民の施設見学等、受け入れ体制は整えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面会は病院や施設で異なり、時間を定め居室で受け入れている施設も多くなっている。</li> <li>感染リスクは変わらず5類になったので、面会の緩和についてはよく話合った方がよい。</li> <li>コロナ流行前は、事業所として地域の小中学生の受け入れしていたので再開してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面会は感染予防対策を講じ、年末年始から時間を定めた居室面会とする。また、施設見学や福祉体験は、今後も間口を広げ、随時受け入れができる体制整備に努める。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の動向を確認しながら、地域密着型事業所として地域行事や活動へ参画していく。事業所としての活動参加は、職員主体で関わられるように取り組んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所として認知症サポーター養成講座や地域会議等の活動へは積極的に参加しているが、人員不足から職員主体で地域活動に参加することはできていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年、行政から認知症サポーター養成講座を受託しており、地域の健康祭りへも継続して参画していることから、地域の関係機関とのネットワークは確り築けていると思います。</li> <li>オレンジウィークへの作品出展等、事業所として地域活動へは積極的に参加いただいている。</li> <li>介護の人材不足の状況から介護職員さんが、地域活動に参加するのは難しいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護人材の採用活動を含め、地域の動向を確認・把握するとともに活動情報の収集に努め、地域密着型サービス事業所として、多職種職員が地域活動に参画できるように取り組んでいく。</li> </ul>
D. 地域に向かい本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様と地域との関わりが継続できるように外出の機会を確保していく。また、事業所として地域の社会資源を理解しお客様の生活支援に活用していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の資源を活用しお花見ドライブや外食などの外出の機会を確保している。事業所として地域の資源を十分に把握できているとはいえない。</li> <li>ご本人のこれまでの暮らしに視点を置き、受診や買い物等、地域との関わりが継続できるようにご家族と連携を図り支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の違いや介護保険について地域に向けて発信してはどうか。</li> <li>地域活動への参加は、今後も継続してほしい。</li> <li>感染症への不安はぬぐえないが、認知症カフェも含め、外出や外食などできることから再開してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も地域行事や活動への参加は継続し、事業所として認知症カフェを活用した「介護福祉施設の説明会」実施に取り組んでいく。また、地域へ外出する機会を設け、事業所活動の活性化を図る。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症カフェや地域活動に積極的に参加し、地域住民への事業所の認知度を高めるとともに、お客様家族へ参加を促す働きかけを継続し、運営推進会議構成メンバーの増員につなげていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議は、年間計画に併せ開催ができている。構成メンバーの増員については、ご家族を含め地域住民に会議への参加を依頼しているが増員には繋がっていない。</li> <li>地域活動へは主として管理者及び介護支援専門員が、参加しているため、事業所としての地域活動への参加状況を職員が把握できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議から地域活動の情報を収集し、活動へ参加できている。</li> <li>利用者利用者家族の意見が事業所運営に反映できるよう、運営推進会議は利用者本人及び利用者家族の参加を促してほしい。</li> <li>家族参加が多い事業所に家族が参加していただけの工夫等を聞いてみてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議の構成メンバーに利用者及び家族に参加していただけるように、開催曜日の変更や事業所活動に併せた開催などの工夫を取り入れ構成メンバー増員に取り組んでいく。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の防災訓練は、防災委員を中心にお客様を含めた参加を目指す。事業所防災訓練は、自治会の回覧板を活用し参加を呼びかけていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回の法定訓練に加え、年間計画に則った自主訓練は実施できているが、事業所の防災訓練は、地域住民の参加に至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の防災訓練は、どの事業所も地域住民の参加がなく課題になっています。</li> <li>今年は、台風上陸の関係で地域自治会の防災訓練は中止となっている。</li> <li>特養は福祉避難所として、施設名が記載されていた。認定されていないとのことだが、事業所が福祉避難所として記載されているか所沢市危機管理課に確認してみてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の防災訓練は、防災委員を中心にお客様を含めた参加を目指す。事業所の防災訓練は、自治会回覧板を活用し地域住民の参加を呼びかけていく。</li> <li>地域の福祉避難所については、行政に確認し事業所の非常災害計画へ落とし込んでいく。</li> </ul>